北信ローカル　３月27日号掲載

自然を楽しむ⑧

「オオイヌノフグリ」

北村　豊
（小布施町栗ヶ丘）

秋に発芽・冬に成長、そのため細胞中の糖濃度を上げて不凍液とする戦略で冬を耐え忍びます。

花をよく見ると、4弁で左右対称に配列されていますが、全ての花弁の形は異なっており、たった2本の雄しべと1本の雌しべがあるのですね。

拡大すると不思議な世界が広がっていました。